

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	①健康寿命の延伸 ②健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	①(男性)81.00歳(女性)86.00歳 ②70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一步、健康はウォーキングから								
小事業	10	都市公園整備事業		目標年度	令和6年度						

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	都市公園の老朽化による更新や公園の管理基準と市民ニーズの変化等による公園施設の改修・更新が求められている。また、都市公園法の改正により公民連携等による新たな運営管理手法の可能性が広がり、市民サービス向上のための運営手法について再検討が求められている。					
事業目的	(1) 対象 都市公園等の利用者 (2) 目的 清掃や施設の改修および保守点検等を行うことで、快適で安全な都市公園の維持と利用者数の増加を図る					
事業概要	市民が安全で快適な憩いの場所として利用できる公園を維持するため、清掃や施設の改修および保守点検等を行う 神明児童公園のリニューアルを進める 森山公園の便所新設を行う 小山公園の便所改修を行う 公園灯のLED化を行う					
事業費 (千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	160,243	101,510	105,075	155,473	120,945
	決算額	110,527	95,979	90,929	126,058	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		3,324 /				1,794

アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	老朽化した公園リニューアル事業 の実施数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	1	

アウト カム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	市民満足度調査による住みよいま ちと感じる人の割合 (%)	目標値	75	75	75	75	75
		実績値	75.7	75	70.7	70.1	



実
績

実 績	神明児童公園再整備工事 小山公園・森山公園トイレ改修工事 公園灯LED化工事 都市公園長寿命化計画策定業務
効 果	新たな市民の公園ニーズに応えられる公園の整備、安全・安心な公園利用が出来るようになることで、日常のくらしに公園が取り込まれ、利用人数の増加や賑わいと安らぎのある質の高い暮らしを提供できるようになる。



評
価
分
析

活動指標分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	前平公園が新庁舎の候補地となったこと等から、長寿命化計画に沿った事業がなされていないが、神明児童公園の再整備等他の公園については計画通り事業が推進している。
K P I 分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	都市公園の老朽化や新たな市民ニーズ、都市構造の変化等に対応した公園整備がなされていない事も要因の一つであると考えられる。
実績からR06年度の 事業の方向性	都市公園の新たな役割や分布等を調べ現状把握を行う。 公園の長寿命化に合わせた再整備など、効率良く効果の高い整備計画を立案し事業を推進する。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	①あい愛バス利用者数 ②住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	①120,000人 ②80.0%	
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	03	クリーンパートナー事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	限られた予算の中で、公園等の公共施設の維持管理には限界があり、地域住民の協力が必要である。				
	事業目的	(1) 対象 公共施設にて清掃活動等を実施するボランティア団体。 (2) 目的 公共施設への愛着をもって管理していただくことで公園利用者の増加を図るとともに維持管理費の削減を図る。				
	事業概要	都市公園などの公共施設において地域住民や市民団体、企業などが実施する維持管理活動を支援する。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,550	1,550	2,180	2,100	1,750
	決算額	762	1,077	1,313	1,321	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	200 / 30				

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	HPを活用したクリーンパートナー活動の年間紹介数	目標値	10	10	10	10
		実績値	6	16	12	9

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	クリーンパートナー登録団体数	目標値	51	52	54	58	61
		実績値	51	53	57	60	



実 績	実 績	昨年度より登録団体数が3団体増加して合計60団体となり、清掃活動等の範囲が広まった。
	効 果	・ボランティア活動を通じて、地域のコミュニケーションが生まれる。 ・公共施設に愛着が生まれ、施設を大切に使用する。 ・公共施設の維持管理費が低減される。



評 価 分 析	活動指標分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	クリーンパートナー事業以外の業務を兼任しており、清掃活動取材日とタイミングが合わない時もあり、目標未達成となった。
	K P I 分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	清掃活動の情報発信、花苗、清掃道具の提供等により、登録団体数の目標値も達成出来た。
	実績からR06年度の事業の方向性	今後も、積極的な情報発信や花苗、清掃道具の充実等、登録団体が活動しやすい環境整備を進める。

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	①あい愛バス利用者数 ②住みよいまちだと感じる人の割合					目標値	①120,000人 ②80.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	04	かわまちづくり整備事業		目標年度	令和6年度						

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	かわまちづくり基本計画の目標である、拠点（美濃太田駅、中山道会館、リバーポ ートパーク美濃加茂）の賑わいの創出及び拠点間の連携によるエリア全体の活性化 （地域資源を活かした賑わいと学び）が達成できていない。					
事業目的	（１）対象 木曾川河川利用者、周辺住民 （２）目的 市民や施設利用者の意見を反映した事業を実施することで、かわまちづくりエリア の賑わいと憩いの場の創出につなげる					
事業概要	リバーポートパーク美濃加茂が賑わうよう運営管理する指定管理者とともに事業を 計画、実施する					
事業費（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	40,543	34,754	29,852	24,871	25,410
	決算額	38,173	29,951	29,051	23,125	
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		953 /				0

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	イベント等まちづくりに関する取 り組み実績回数（回）	目標値			35	90
	実績値				91	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	リバーポートパーク来訪者数	目標値			130000	130000
	実績値				185000	



実
績

実 績	・イベントの開催回数91回 ・イベント集客人数180,000人 木曾川中流域合同イベント：「river to summit」、 リサイクル市場：「超絶蚤の市」等
効 果	・美濃加茂市の地域ブランドとして認知 ・地域プライドの醸成 ・地域雇用の創出 ・官民連携による地域活性化（維持管理費の低減、サービスの質の向上、 地域プレイヤーと連携）



評
価
分
析

活動指標分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者に大きな自主事業エリアと事業の自由度を与えたこと（設置管 理許可区域）により、来園者の増加と自主事業が好循環となる仕組みとな っている。このことにより、自主事業と指定管理者以外が実施するイベ ントとの相乗効果が生まれ、多くの来園者で賑わっている。また、イベン ト主催者に選ばれる場ともなった。 以上のことから目標値を大幅に超えたため、R6年度以降の目標値を修正し た。
K P I 分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者とイベント主催者の連携として指定管理者が行っている事につ いて以下の事項が挙げられます。 ・イベントの相談に積極的に関わっている。（交通整理の手伝い、音響設 備の貸し出し、イベントと自主事業との連携、共催） ・中之島公園のHPで各イベントの告知。 ・リバポフィットネスとして、関連事業をまとめて告知。
実績からR06年度 の事業の方向性	現在の仕組みを継続しつつ、官民連携した新しい事業を計画実施する。ま た、ソフト事業に裏付けられた最小限のハード整備も実施する。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	①あい愛バス利用者数 ②住みよいまちだと感じる人の割合					目標値	①120,000人 ②80.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなのまちを、みんなでつくる								
小事業	05	K i s o ジオパークにぎわい創出事業（定住）		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	氾濫や増水から人々の暮らしを守るための河川改修や堤防の築堤により、人々の安心・安全な生活は確保され、豊かな生活が出来るようになった一方で、生活水準の向上に伴い人々と川との関わりは少なくなった。また、暮らしの中で木曽川の恩恵を直接享受している世代（60代以上）が存在している今こそが、地域特有の文化（川の文化）を継承できるラストチャンスである。				
	事業目的	（１）対象 圏域住民 （２）目的 川の特つ楽しさや魅力を伝える一方で、川が持つ危険性や万が一危険な状況が起こった場合の対処法などを地域の方（子供たち）にわかりやすく伝え、事故を防ぐための啓発を行うとともに、木曽川への親水性を高め、賑わいのある河畔空間を創出し、「人と川の素敵な関係がうまれるまち」を圏域の特徴として、川のある暮らしを未来に継承していける人と人の繋がりをつくることを目的とします。				
	事業概要	河畔空間の魅力向上のための整備や、川のリスクマネジメント・川のある暮らしを体験できるプログラムを企画・実施していく。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,724	17,800	10,395	18,917	9,118
	決算額	7,724	13,352	7,645	15,959	
	年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）	516 / 0				

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	イベント等まちづくりに関する取り組み実施回数（回）	目標値	34	35	36	37
		実績値	24	101	91	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	堤防道路の利用人数（人）	目標値	248000	249500	251000	252500
		実績値	236037	249350	268300	



実 績	実績	・イベントの開催回数91回 ・イベント集客人数180,000人 ・堤防道路高欄塗装 ・川と森の生き物講座等2回 ・川のリスクマネジメント3回
	効果	堤防道路空間の改善による堤防利用環境の向上や、各種体験学習等のソフト事業が充実してきたことにより、木曽川河畔エリアの利用人数が増加している。 木曽川及び河畔の森等を活用した各種プログラムにより、川との良好な関係性が生まれ、魅力ある「川のある暮らし」が醸成しつつある。



評 価 分 析	活動指標分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	指定管理者主催のイベントや市民団体のイベントを多く開催することができた。大規模イベントだけでなく、ホール等での小規模なイベントも実施。また、定期的に行っているイベントもあり、中之島公園がイベントができる場所として認知度が上がったと考える。 昨年度に引き続き太田小学校児童を対象に川のリスクマネジメントや夏休み川の安全講習会を行った。魅力ある地域資源（木曽川及び河畔林）の探求を目的とした親子で参加する「生き物講座」を新たな事業として実施し、地域愛の醸成の促進につながった。 当初の想定を大きく上回る結果となっているため、活動指標目標値を令和7年度から90回/年に見直す。
	K P I 分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	各種イベントを開催したことで利用者が増加した。指定管理者と共に引き続き中之島公園や木曽川河畔を使ったイベントを実施し目標達成に努める。
	実績からR06年度の事業の方向性	令和５年度に引き続き川のリスクマネジメントを行うが、他部署（教育センター）による同内容の事業計画がある為、令和６年度については当該では実施しない。夏休み川の安全講習会については継続して実施する。川のリスクマネジメント以外のイベントについて、木曽川周辺の自然を活用した自然体験学習や現代アートに触れる機会を得ることで、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力や新たな感性を育み、生きる力の基盤を育てると共に地域愛を醸成し、定住促進に寄与することを目的とする。 令和５年度で堤防手摺塗装工事が全線完了。堤防道路利用者に快適な河畔空間利用提供していくため、老朽化した舗装等の修繕を進めていく。

令和 5 年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	03300000	建設水道部 土木課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	07	土木費	04	都市計画費		04	公園費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	①あい愛バス利用者数					目標値	①120,000人
中事業	03	主要な取り組み	地球とまちの環境を守る		②住みよいまちだと感じる人の割合						②80.0%
小事業	04	ヤギさん除草事業		目標年度	令和6年度						

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	ヤギ除草によるいっそうの癒し効果、市のPR効果を踏まえて事業を展開している。 ヤギ除草を施工する箇所は法面が急であり足場がないため、人力で行うと転落による事故の危険性がある。ヤギは急峻な場所でも容易に移動することができることから、法面での飼育に問題がなく有効に緑地管理を行うことができる。					
事業目的	(1) 対象 近隣市民、公園等利用者 (2) 目的 ヤギさんによる除草をすることで、環境に優しく低コストな手法による公共用地法面の保全					
事業概要	環境に優しく低コストな法面除草の手法であるヤギさん除草をさくら広場などの公共緑地において実施する					
事業費 (千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,400	7,400	10,092	9,720	10,022
	決算額	7,205	7,348	9,999	9,608	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		326 / 0				

アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	ヤギさん除草のイベント回数	目標値	1	1	2	1	1
		実績値	0	1	1	2	

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	ヤギさん除草の年間紹介回数	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	1	3	3	3	



実 績	実績	ヤギさん除草を実施 (施工面積 A=3.4ha) ・さくら広場、給食センター北緑地 ・あじさいヶ丘3丁目法面 ・中部台パーク調整池 ・文化の森西緑地 ヤギさんふれあい教室 2回
	効果	・除草により法面や緑地の適正な管理を行えた。また、ヤギによる除草で維持管理費のコストダウンを図ることができた。 ・ヤギさん除草に対する電話やメール、来訪者の意見等により、視覚的・心的効果による心の健康に寄与している事がうかがえる。また、イベントでヤギさんと触れ合い、専門家のお話を聞くことで、参加者が本取組みに関する理解を深めることができた。



評 価 分 析	活動指標分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	ヤギ除草による法面の適正な管理のほか、ヤギさんイベントを中部台パークで行った。当日は多くの参加者があり、癒し効果や市のPRにもなった。
	K P I 分析 ※目標値の達成 ・未達成要因	ヤギ除草開始時等にはメディアによる取材等により、ヤギ除草と通じて市のPRにも貢献している。
	実績からR06年度の事業の方向性	引き続き、ヤギさん除草を進める。更なる癒し効果や市のPRに繋げてよう、情報発信の強化やイベントの更なる充実、ヤギさん除草実施箇所の拡充等を図る。